

令和7年度

十勝管内教育研究所連絡協議会総会

【総会】 進行：1～4及び11 事務局（十勝教育研究所 山本主任）

- 1 開会の言葉
- 2 市町村教育研究所所長 自己紹介
- 3 十勝教育研究所所員 自己紹介
- 4 議長選出
- 5 役員選出
- 6 連絡協議会会長挨拶
- 7 報告事項
 - (1) 令和6年度 十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究事業報告
 - (2) 令和6年度 令和6年度十勝管内教育研究所所員研修会事業報告
 - (3) 令和6年度 会計決算・監査報告
 - (4) その他
- 8 協議事項
 - (1) 令和7年度 十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究事業計画（案）について
 - (2) 令和7年度 十勝管内教育研究所所員研修会実施要項（案）について
 - (3) 令和7年度 十勝管内教育研究所連絡協議会予算（案）について
 - (4) その他
- 9 その他
 - (1) 管内所員研における部会提言の発表テーマについて
 - (2) 令和11年度の管内所員研発表割当について
 - (3) 十勝管内教育研究所連絡協議会役員・所員研修会の開催地（輪番）について
 - (4) その他
- 10 議長退任
- 11 閉会の言葉

【所長研修会】 進行：副会長（十勝教育研究所 石丸副所長）

- 1 令和7年度市町村教育研究所の事業について（交流・協議）
- 2 その他

日時 令和7年5月29日（木）14時～

場所 十勝教育研修センター

令和7年度 十勝管内教育研究所連絡協議会

◆ 十勝管内教育研究所一覧

市町村名	所長名	所属所	事務局等 (連絡窓口)	連絡先
音 更	笠原 聡	緑陽台小	竹本 良平	柳町小
士 幌	舘 英樹	中士幌小	山根 由之	中士幌小
上士幌	坂下 亮宏	上士幌小	坂下 亮宏	上士幌小
鹿 追	増田 覚	瓜幕小	渡邊 慎二	瓜幕小
新 得	古村 俊大	屈足中	山西 一樹	屈足南小
清 水	佐藤 貴光	御影小	宮脇 秀士	御影中
芽 室	吾妻 昌三	芽室西小	野村 真実	芽室西小
中札内	菅原 晴彦	上札内小	内山 英俊	中札内小
更 別	長澤 啓二	上更別小	山野 圭	更別小
大 樹	大石 浩之	大樹中	菅原 弘貴	大樹小
広 尾	和嶋 康彦	豊似小	三木 俊治	広尾小
幕 別	西田 茂生	札内北小	鎌田 貴義	忠類中
池 田	稲葉 珠樹	池田小	田村 浩文	池田小
豊 頃	小副川 浩	大津小	中野 真一	豊頃小
浦 幌	阿部 英一	上浦幌中央小	山田 征洋	上浦幌中
本 別	宮崎 哲	勇足小	宮崎 哲	勇足小
足 寄	児玉 祥洋	大誉地小	須田 慎二	芽登小
陸 別	小田 浩平	陸別小	後藤 昭史	陸別小
帯 広	渋谷 康治	帯広市教育研究所	渋谷 康治	帯広市教育研究所
十 勝	横山 利幸	十勝教育研究所	山本 由佳	十勝教育研究所

◆ 令和7年度 十勝管内教育研究所連絡協議会役員 (案)

役員	氏名	所属	備考
会 長	横山 利幸	十勝教育研究所	
副会長	渋谷 康治	帯広市教育研究所	
	西田 茂生	幕別町教育研究所	
	石丸揚一朗	十勝教育研究所	
幹事	児玉 祥洋	足寄町生涯学習研究所	足寄
	和嶋 康彦	広尾町教育研究所	広尾
	吾妻 昌三	芽室町教育研究所	芽室
	小副川 浩	豊頃町教育研究所	豊頃
	舘 英樹	士幌町教育研究所	士幌
会計監査	笠原 聡	音更町教育研究所	
事務局	山本 由佳	十勝教育研究所	

■ 報告事項

(1) 令和6年度 十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究事業報告

○ 共同研究 授業実践グループ

Aグループ

役 職	氏 名	所属研究所	所属学校
推進幹事	中村 俊太	芽室町教育研究所	芽室南小学校
推進副幹事	程野 純貴	足寄町生涯学習研究所	足寄小学校
授業者	齊藤 織斗	大樹町教育研究所	大樹小学校
研究員	土屋 英之	士幌町教育研究所	上居辺小学校
	杉浦 亜弓	上士幌町教育研究所	上士幌小学校
	中山 竜太	鹿追町立教育研究所	鹿追小学校
	土橋 真理	中札内村教育研究所	中札内小学校
	原田 憲未	更別村教育研究所	上更別小学校
	名越 正道	池田町教育研究所	池田小学校
	幾島 佑真	本別町総合教育研究所	本別中央小学校

Bグループ

役 職	氏 名	所属研究所	所属学校
推進幹事	藤原 悠大	帯広市教育研究所	大空学園義務教育学校
推進副幹事	上野 純子	音更町教育研究所	音更中学校
授業者	長澤 翔太	幕別町教育研究所	幕別中学校
研究員	柴山 貴大	新得町教育研究所	新得中学校
	高原 悠輔	清水町教育研究所	御影中学校
	山下 喜久	広尾町教育研究所	広尾中学校
	添田佑生子	豊頃町教育研究所	豊頃中学校
	田口 宏子	浦幌町教育研究所	上浦幌中学校
	高松ななみ	陸別町教育研究所	陸別小学校

○ 業務日誌

6月 4日 (火)	第1回共同研究員会議	研修センター
6月20日 (木)	第2回共同研究員会議 (Aグループ幹事・副幹事・授業者)	オンライン
6月25日 (火)	第2回共同研究員会議 (Bグループ幹事・副幹事・授業者)	オンライン
7月 9日 (火)	第3回共同研究員会議	研修センター
8月20日 (火)	第4回共同研究員会議 (Bグループ)	研修センター
8月22日 (木)	第4回共同研究員会議 (Aグループ)	研修センター
9月10日 (火)	小学校 授業実践1	齊藤教諭 (大樹小)
	第5回共同研究員会議 (Aグループ)	大樹小学校会議室
9月17日 (火)	中学校 授業実践1	長澤教諭 (幕別中)
	第5回共同研究員会議 (Bグループ)	幕別中学校会議室
9月19日 (木)	小学校 授業実践2	齊藤教諭 (大樹小)

	第6回共同研究員会議 (Aグループ)	大樹小学校会議室
9月24日(火)	中学校 授業実践2 第6回共同研究員会議 (Bグループ)	長澤教諭 (幕別中) 幕別中学校会議室
10月8日(火)	第7回共同研究員会議 (Aグループ)	オンライン
10月15日(火)	第7回共同研究員会議 (Bグループ)	オンライン
1月14日(火)	第8回共同研究員会議 (Bグループ幹事・副幹事・授業者)	オンライン
1月16日(木)	第8回共同研究員会議 (Aグループ幹事・副幹事・授業者)	オンライン
1月21日(火)	第9回共同研究員会議 (Bグループ幹事・副幹事・授業者)	研修センター
1月28日(火)	第8回共同研究員会議 (Aグループ幹事・副幹事・授業者)	研修センター
2月6日(木)	十勝教育研究所研究発表大会	オンライン

○ 令和6年度 十勝教育研究所研究発表大会

■ **期 日** 令和7年2月6日(木)

■ **実施方法** Zoomによるオンライン開催

■ **会 場** 配信側：十勝教育研修センター、受信側：各学校等

■ **参加者** 170名

■ **研究発表**

発表1 十勝管内教育研究所連絡協議会 共同研究 (2/2年次)
「自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育む研究」
～考えを広げ深める対話の工夫と、学びをつなげる振り返りを通して～

発表2 十勝教育研究所 協力員研究 (1/2年次)
「他者を尊重し、責任をもって行動する子どもを育む研究」
～日常モラルを生かした学習内容と一人一人が意思決定する学習展開の工夫を通して～

■ **参加者交流**

共同研究(小学校第2学年国語科/中学校第3学年数学科)に関わる実態交流

協力員研究(特別活動/小学校第6学年・中学校第1学年)に関わる実態交流

■ **反省**

2 令和6年度 研究発表大会についてのご感想をお聞かせください。

項目	そう思う	おおむねそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
Zoomによるオンライン開催は参加しやすかった。	33	9	3	1
資料は分かりやすかった。	35	8	1	1
研究発表大会全体の時間設定は適切だった。	31	12	2	1
各研究の発表、実態交流の時間設定は適切だった。	28	15	2	1
ブレイクアウトルームでの実態交流は話しやすかった。	18	24	2	1
実態交流のテーマは適切だった。	25	17	2	1
ホームページの情報は分かりやすかった。	31	12	2	1

・ Zoomによるオンライン開催のため、天候に左右されず、大会の時間を十分に確保できるなどのメリットがあった。また、今回はZoomの接続台数を500台としたことで個人での参加が可能となった。それに伴い、参加方法を「実態交流に参加」と「視聴のみ」の2つにした。教育委員会や道研など様々な方にご参加いただいた。発表資料を事前にホームページにアッ

プし、ダウンロードできるようにした。

- ・ 限られた時間で、理論提案から実態交流までねらいに応じた内容にすることができた。共同研は同校種、協力員研は異校種でグループを編成し、互いの実践について交流した。事後アンケートで大変ご好評をいただいたことから、参加者にとって有意義な研究発表大会であったと思われる。
- ・ 各市町村教育研究所等の協力により、170名の参加者があった。今後、研究所員以外の参加者がより増えるような呼び掛けも必要である。

(2) 令和6年度十勝管内教育研究所所員研修会事業報告

1 趣 旨	管内の各教育研究所の今日的な課題と役割を明らかにし、併せて相互の研究成果の交流を図り、研究所員としての力量を高める。					
2 主 催	十勝管内教育研究所連絡協議会					
3 主 管	中札内村教育研究所 十勝教育研究所					
4 期 日	令和6年(2024年)7月4日(木)					
5 会 場	中札内文化創造センター ※完全参集型による開催					
6 日 程	12:30	13:00	13:20	14:40	14:50	16:00 16:05 16:10
	受付	開 会 式	講 演 会	休 憩	部 会 (学 び ・ 心)	移 動 開 会 式
7 内 容						
(3) 講演						
演題	日高山脈国立公園化に向けて					
講師	環境省帯広自然保護官事務所 自然保護官 山北 育実 氏					
(4) 部 会						
	① 学び(確かな学力)を育む部会～音更町教育研究所、幕別町教育研究所					
	② 心(人間性・社会性)を育む部会～鹿追町教育研究所、陸別町教育研究所					
8 参加費	各市町村研究所 3,000円					
9 参加者数	133名					

(3) 令和6年度 会計決算・監査報告

○ 令和6年度 十勝管内教育研究所連絡協議会 決算

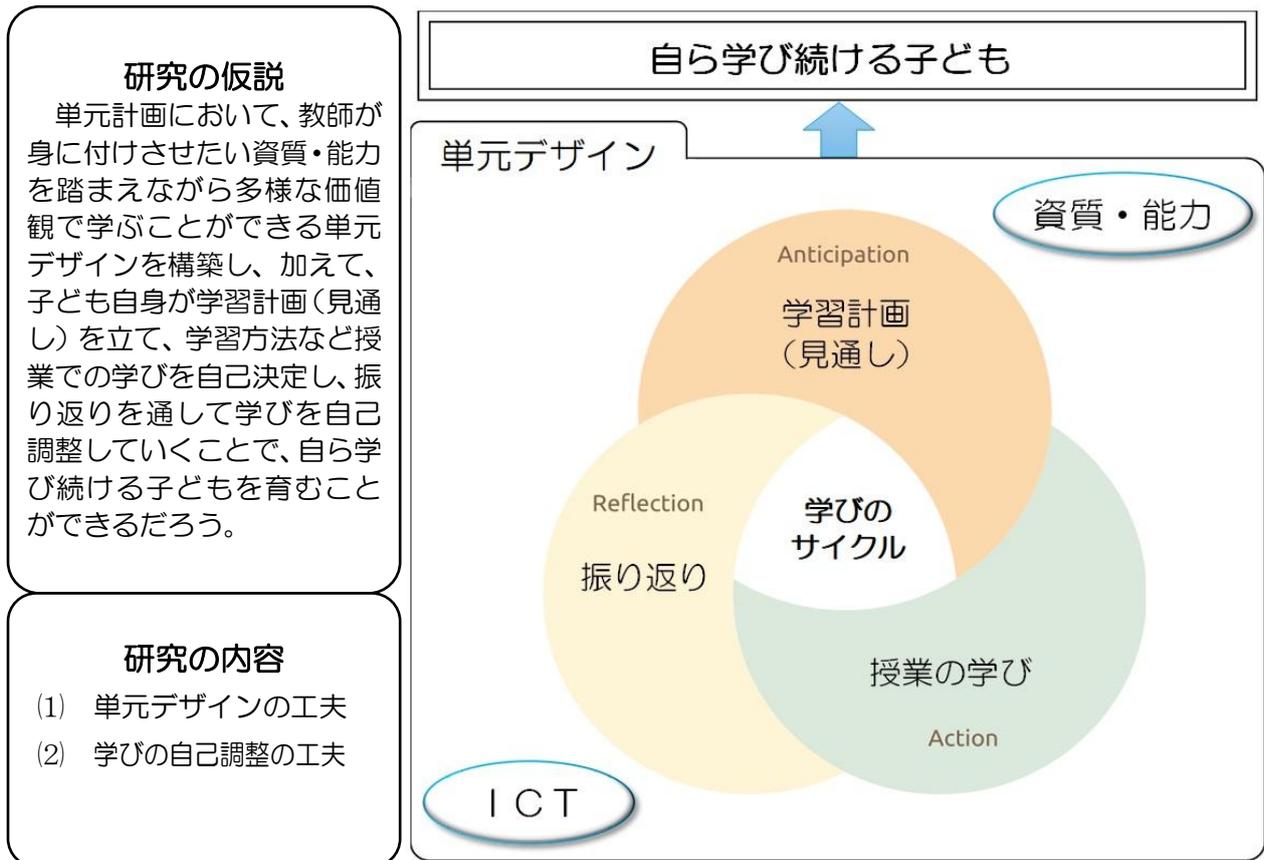
① 収入の部

項 目	令和6年度予算額	決算額	差引増減	摘 要
繰越金	131,086	131,086	0	令和5年度繰越金
負担金	40,000	40,000	0	管内教育研究所負担金 (@2,000×20)
雑収入	0	130	130	管内所員研修会残金繰入55円 決算利息75円
合 計	171,086	171,216	130	

十勝管内の小・中学校は、令和6年度の校内研究の目的を「学びの自己調整」や「主体的に学ぶこと」とした学校が約4割となっており、多くの学校が自ら学習を進める子どもを育む必要性を感じている。

以上の状況から、研究1年次は、教師が身に付けさせたい資質・能力を明確にし、子どもが多様な価値観で学ぶことができる単元デザインを作成し、学習計画を立て、子ども自身で自分に合った教材や学習方法、学習時間を判断しながら学習を進め、振り返りを通して学びを自己調整することで、自ら学び続ける子どもを育むための研究を進めることとした。

③ 研究の仮説と内容、構造図



※ 旅費の負担について

<ul style="list-style-type: none"> 町村教育研究所負担分 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回共同研究員（全体会議） 第3回共同研究員（全体会議） 第5回共同研究員（授業実践1・グループ会議） 第6回共同研究員（授業実践2・グループ会議） 第7回共同研究員（授業実践3・グループ会議） 研究発表大会
<ul style="list-style-type: none"> 十勝教育研究所負担分 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回共同研究員（推進幹事・副幹事・授業者会議） 第4回共同研究員（全体会議） 第8回共同研究員（全体会議） 第9回共同研究員（推進幹事・副幹事・授業者会議） 第10回共同研究員（推進幹事・副幹事・授業者会議）

(2) 令和7年度 十勝管内教育研究所所員研修会実施要項 (案)

令和7年度十勝管内教育研究所所員研修会									
1 趣 旨	管内の各教育研究所の今日的な課題と役割を明らかにし、併せて相互の研究成果の交流を図り、研究所員としての力量を高める。								
2 主 催	十勝管内教育研究所連絡協議会								
3 主 管	陸別町教育研究所 十勝教育研究所								
4 後 援	北海道教育庁十勝教育局 陸別町教育委員会								
5 期 日	令和7年(2025年)7月3日(木)								
6 会 場	陸別町役場 タウンホール 陸別町保健福祉センター ※完全参加型による開催								
7 日 程	12:00	12:30	12:50	14:00	14:10	15:20	15:30	15:40	
	受付	開 会 式	講 演 会	移 動	部 会 (A・B)	移 動	閉 会 式		
8 講 演	演題 「学校・教職員に期待すること(仮)」 講師 陸別町長 本田 学 氏								
9 部 会	① A部会(提言:上士幌町教育研究所・更別村教育研究所) ② B部会(提言:豊頃町教育研究所・帯広市教育研究所)								
10 参加費	各市町村研究所 3,000円								

(3) 令和7年度 十勝管内教育研究所連絡協議会 予算 (案)

① 収入の部

項 目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	前年度比	摘 要
繰越金	144,729	131,086	13,643	
負担金	40,000	40,000	0	管内教育研究所負担金 (@2,000×20)
雑収入	0	0	0	預金利息等
合 計	184,729	171,086	13,643	

② 支出の部

項 目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	前年度比	摘 要
通信費	15,000	15,000	0	切手・宅配便 等
消耗品費	40,000	40,000	0	コピー用紙・インク 等
研修会費	115,000	110,000	5,000	管内所員研修会 等
予備費	14,729	6,086	8,643	
合 計	184,729	171,086	13,643	

■ その他

(1)管内所員研における部会提言の発表テーマについて

各研究所が取り組んでいる調査研究内容から決定し、期日までに主管（主催者）へ報告する。

(2)令和8年度以降の管内所員研発表割当について（令和11年度について確認）

方面 学校数	市町村 名	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年			
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029			
北部 22	音更		道東地区 所員研修会を兼ねる	北海道教育 研究所連盟研究 発表大会を兼ねる	学提言			道東地区 所員研修会を兼ねる		提言			
	士幌								主管				
	上士幌					提言							
西部 23	鹿追					心提言						提言	
	新得								提言				
	清水										提言		
	芽室								主管				
南部 11	中札内	学提言					主管						提言
	更別								提言				
	大樹										提言		
	広尾									提言			
東部 23	幕別				学提言								
	池田	学提言					提言						
	豊頃	主管				提言							
	浦幌							提言					
東北部 12	本別	心提言							提言				
	足寄						提言						
	陸別				心提言	主管				提言			
帯広 39		心提言				提言				主管			
十勝			主管	主管				主管					
主管・(主催)		東部	十勝	(道研)	南部	東北部	西部	十勝	北部	帯広			

※ 令和10年度までの割当は前年度確認済み。令和11年度について確認する。

※ 部会の司会については、主管する研究所で検討し、その都度依頼する。

(3) 十勝管内教育研究所連絡協議会役員・所員研修会の開催地（輪番）について

役員		担当研究所長								
会長		十勝教育研究所長								
副会長		帯広市教育研究所長								
		幕別町教育研究所長								
		十勝教育研究所副所長								
事務局長		十勝教育研究所								
会計監査		音更町教育研究所長								
		3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年
幹事	東北部	陸別	足寄	本別	陸別	足寄	本別	陸別	足寄	本別
	南部	中札内	更別	大樹	更別	広尾	中札内	大樹	更別	広尾
	西部	鹿追	新得	清水	新得	芽室	鹿追	清水	新得	芽室
	東部	浦幌	豊頃	池田	浦幌	豊頃	池田	浦幌	豊頃	池田
	北部	士幌	上士幌	士幌	上士幌	士幌	上士幌	士幌	上士幌	士幌
主幹方面		東部	兼 道東研	兼 全道研	南部	東北部	西部	兼 道東研	北部	帯広
管内研		豊頃	十勝	十勝	中札内	陸別	芽室	十勝	士幌	帯広
道東研		根室	十勝	オホー ツク	釧路	根室	オホー ツク	十勝	釧路	根室
道研連大会		後志	札幌	十勝 帯広 幕別	オホー ツク	胆振	釧路	石狩	渡島	留萌

※ 十勝管内教育研究所所員研修会主管方面について

- 帯広→東部→南部→東北部→西部→北部とする。
- 道東研、道研連大会が十勝で開催される場合にはその大会と兼ねる。

資料（令和7年度十勝教育研究所）

職名	氏名	所属
所長	横山 利幸	専任
副所長	石丸揚一朗	幕別町立札内中学校
主任	山本 由佳	幕別町立札内中学校
副主任	初山 修斗	幕別町立札内北小学校
所員	佐藤 悠樹	音更町立音更中学校
所員	中村 俊太	音更町立鈴蘭小学校
所員	千葉 直哉	音更町立共栄中学校
書記	清水 悦子	専任

十勝管内教育研究所連絡協議会規約

(名 称)

第1条 本会は、十勝管内教育研究所連絡協議会という。

(組 織)

第2条 本会は、十勝における教育研究所並びにこれに準ずる機関を持って構成する。

(目 的)

第3条 本会は、加盟機関相互の連携を密にして、教育研究の充実を図り、もって十勝教育の振興に寄与する。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的達成するため下記の事業を行う。

- (1) 教育研究所員研究発表会 参加協力
- (2) 共同の研究
- (3) 教育研究に必要な資料の収集及び交換
- (4) 教育研究活動の理解普及
- (5) その他必要な事業

(機 関)

第5条 本会に下記の機関を置く。

- (1) 総 会
- (2) 幹事会

(総 会)

第6条 総会は、関係機関の代表をもって構成する。

2 総会は、会長の招集により年一回定期に開催し、下記の事項を審議する。

ただし、必要に応じて臨時に開催することができる。

- (1) 規約改正
- (2) 役員を選出
- (3) その他本会の事業に関する事項

(幹事会)

第7条 幹事会は、正副会長・幹事をもって構成する。

2 幹事会は、会長が招集し司会する。

3 幹事会は、総会の決議事項の執行に当たる。緊急事項が生じた場合はこれを処理し総会の承認を求める。

(役 員)

第8条 本会に下記の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 幹事 若干名
- (4) 会計監査 若干名
- (5) 事務局長 1名

2 役員任期は1年とし、再任を妨げない。

(事務局)

第9条 本会の事務局は、十勝教育研究所に置く。

(経 費)

第10条 本会の経費は、総会の審議で決める。

附 則

この規約は、昭和51年8月23日より施行する。

この規約は、平成20年5月20日より施行する。

この規約は、令和4年5月31日より施行する。